

# 議会だより



第16号

改訂版

■発行：佐渡市議会 ■責任者：竹内道廣 ■編集：議会報編集特別委員会  
〒952-1393 新潟県佐渡市河原田本町394番地 ☎(0259) 57-8133



相川「佐渡國 相川ひなまつり」

## 3月定例会

- |                   |   |
|-------------------|---|
| ★議長、副議長あいさつ…… 2p  | ★一般質問…………… 9～16p                          |
| ★常任、特別委員会委員名簿 3p  | ★常任委員会活動報告 17～19p                         |
| ★定例会、臨時会の概要… 4～5p | ★議会報編集特別委員会<br>委員長あいさつ、<br>編集後記 …………… 20p |
| ★代表質問…………… 6～8p   |   |

# 佐渡市議会 議長・副議長 あいさつ



議長  
竹内 道廣

このたび、議長に推挙されました竹内であります。まさに私のような浅学非才、更には粗雑な者が議長に推挙されたという事は、私の議会経験の長さへの議員の皆さんの配慮と心得ております。しかし、議長になりましたからには、与えられた職責を存分に発揮し、議会の役割の強化と議会の改革に取り組み所存であります。先ずは失われた議会の信用、信頼の回復に全力で取り組みたいと思っております。そのためには、まず議員自らが血を流す議会の議員定数の更なる削減に着手し、市民の負託に毅然と応え、確固たる姿勢で将来の佐渡市を見据えた改革に取り組みねばなりません。それぞれの議員が自らを厳しく律し、我々に課せられた議会の使命である批判と監視の府としての役割を全うせねばなりません。議会が執行部と癒着したり、市長に媚びたりする事は、議会制民主主義の崩壊であり議会が市民から見放される根幹であると思得ます。執行部の責任、議会の責任を明確に遂行することで政治に緊張感を与え、責任の所在を明確にすることが政治の実行力及び、指導力を生むものであり、改革を躊躇すること無く実行することが、佐渡市の健全自治建設の基軸をなすと考えます。議会は絶えず住民意識、住民視線で行政監視に努めますので、なお一層のご支援をよろしく願います。



副議長  
加賀 博昭

このたび、無党派の私が副議長を命ぜられたことの意味を深くかみしめております。私は旧両津市議会時代を含めて議会の役割を求めたことはありません。しかし、大事な問題のあるときは役割を命ぜられました。佐渡市誕生が3月1日のために、10か市町村と佐渡市の決算審査を同時に行ったときの決算審査特別委員長は私でした。今度の議員の任期が終わる合併後8年というのは、合併優遇措置10年が終わる直前であります。「合併後10年の方針をしっかり立ててくれよ」というのが今度の人事の意味だと思えます。少数でも力量ある議会の構築、議長とともに難題に立ち向かう決意です。よろしく願います。

# 佐渡市議会人事名簿

(平成20年4月25日～)

●改選後の議会人事を紹介します。

なお、常任委員会の一部名称を変更し、4常任委員会から3常任委員会となりました。

議長 竹内道廣

副議長 加賀博昭

## ◇常任委員会

委員会名	定数	委員長	副委員長	委員
総務文教 常任委員会	10	臼杵克身	金田淳一	中川直美 岩崎隆寿 祝 優雄 浜田正敏 本間千佳子 大桃一浩 近藤和義 *(欠員1人)
市民厚生 常任委員会	9	小田純一	廣瀬 擁	小杉邦男 金光英晴 加賀博昭 田中文夫 金子克己 佐藤 孝 根岸勇雄
産業建設 常任委員会	9	若林直樹	中川隆一	松本正勝 金子健治 川上龍一 中村剛一 村川四郎 中村良夫 猪股文彦

※議長辞退の為

## ◇議会運営委員会

委員会名	定数	委員長	副委員長	委員
議会運営 委員会	8	金光英晴	村川四郎	中川直美 小杉邦男 金田淳一 田中文夫 廣瀬 擁 根岸勇雄

## ◇特別委員会

委員会名	定数	委員長	副委員長	委員
議会報編集 特別委員会	8	中村良夫	松本正勝	廣瀬 擁 佐藤 孝 小田純一 本間千佳子 岩崎隆寿 祝 優雄
行財政改革 特別委員会	8	田中文夫	川上龍一	中川直美 中川隆一 中村剛一 猪股文彦 浜田正敏 近藤和義

◇監査委員 金子克己

◇新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員 小田純一

◇民生委員推薦会 本間千佳子

# 平成20年 第1回 定例会

平成20年第1回定例会が3月3日～21日の19日間の会期で開催されました。

高野市長から施政方針が示された後、会派による代表質問と、14人の議員による一般質問が行われ、執行部と論戦を繰り広げました。

また、常任委員会に付託された予算、条例等の審査と委員長報告が行われ、総額424億円の一般会計予算を含む86議案を可決し閉会しました。

## 主な議題

- ◆平成20年度佐渡市一般会計予算について
- ◆佐渡市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆佐渡市職員の給与の特例に関する条例の制定について
- ◆佐渡市後期高齢者医療に関する条例の制定について
- ◆佐渡市学校給食センター条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆新穂小学校体育館改築（建築）工事請負契約の締結について

# 平成20年 第2回 臨時議会

平成20年第2回臨時会が4月25日に開催されました。

議員28人となった初の議会で、今後の議会運営の柱となる議長、副議長の選挙が実施された後、3常任委員会と2つの特別委員会の設置と委員の選任がなされました。

臨時会では、平成20年度一般会計補正予算（第1号）を含む9議案が可決されました。

## 主な議題

- ◆平成20年度佐渡市一般会計補正予算（第1号）について
- ◆佐渡市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆平成20年度佐渡市簡易水道特別会計補正予算（第1号）について
- ◆佐渡市教育委員会委員の任命について
- ◆佐渡市監査委員の選任について



# 代 表 質 問

新生クラブ

大桃 一浩 議員

## 佐渡経済の復興を 聖域なく進めよ



**質問** 風浪被害対策を迅速にかつ疲弊した地元経済も念頭に対応すべきでないか。

**市長** 現在、国、県と対応を協議しているが、地元経済への波及も考えて迅速に進める。

**質問** 佐渡の地域間格差が発生している状況を考え、地域の特徴ある発展を佐渡市の責任として行うべきである。疲弊した佐渡経済の復興に徹底的に取り組む必要があるのではないか。

**市長** 地域間格差の是正に取り組む。佐渡の風土に合った企業の誘致を進めるとともに、基幹産業の農林水産業や観光業に対しても時代と消費者のニーズに合った施策を取っていく。

**質問** 佐渡空路、航路、島内交通機関の健全運営は、島民の生活の安定にも直結する。羽田空路の確保、佐渡航路や島内交通機関の健全運営を責任の範囲で積極的に進めるべきでないか。

**市長** 交通機関の健全運営は、佐渡経済と直結する重要な課題である。それ

ぞれが抱える問題を十分に検討し島民に最大の利益が出るような対応をする。

**質問** 子育て支援は佐渡独自の方向性に進めていく必要があるのではないか。

**市長** 出産医療費の無料化を検討させるとともに積極的に子育て支援を進める。

**質問** 世界文化遺産登録、トキ放鳥は佐渡を世界にPRできる絶好の機会であるのではないか。

**市長** 佐渡が持つ素晴らしいそれらの宝が次世代の子供たちの誇りになるよう進める。



写真提供 佐渡トキ保護センター

三・一クラブ

渡邊 庚一 議員

## 担任制で市民とのふれあいを 出前市役所に代えて担任制を



**質問** 市は出前市役所で、市民とふれあいを深めようとしているが不十分である。職員に、例えば50世帯を担任させて、地区の囑託員や民生委員と協力して、常時市民とふれあう制度を作れば、文字どおり出前市役所になる。500人の職員で全世帯がカバーできる。検討すべきでないか。

**市長** 担任制については斬新な発想で、十分検討してみたい。

### 新エネルギー開発について

**質問** 原油の値上がりは止まらない。緑のリサイクルセンターでは、ペレット

の製造で、10キロ650円と、灯油より経済的な値段に達している。家庭用、さらにはハウス園芸に使用できれば、施設園芸団地の造成も可能であると考えるが。

**市長** 製造のためのエネルギーの少ないチップの使用を優先的に対処したい。

**質問** トキの天敵対策は十分か。

**市長** トキが自然に順応できる訓練が行われていると聞いている。放鳥してからの対応になると思う。

**質問** 佐渡総合病院の新築対策について、農振地区除外といった手続きのみを挙げている。土地、資金の対策は万全か。

**市長** 厚生連病院とはいえ、最も利益を受けるのは市民である。部局横断的な対策室を新年度に設置して対応したい。

原油の値上がりは  
島民にとって大きな負担だ



# 代 表 質 問



自由民主党・市議会

竹内 道廣 議員

## 将来を見据えた

### 市の行政運営を



**【質問】** 人口6万程度の自治体はすべてトップダウンの指揮命令で行政運営に当たっている。副市長2人制の廃止及び部長制の即刻廃止を求める。

新佐渡戦略会議なるものは、きょうまでに何をしてきたのか。どのような政策提言があったのか、そのことが佐渡市の行政運営にどう生かされたのか。

毎年、佐渡市から人口が1000人ずつ減少している。もう既に合併後4年間で4000人が消えてしまった。このままいけば、佐渡市の将来は3万人である。トキや世界遺産が大事なことは認めるが、トキや世界遺産で飯は食えないのも現実である。人口問題は経済問題であるとともに、若者定住問題であり、地域活性化問題である。このまま放置できないが、どうするつもりか。

**【市長】** 副市長2人制及び部長制については、いつかは必要でなくなるというときは、当然来ると思うが、それは議会も含めて、市民の中で議論していただき、そのタイミングを決定していくと考えている。

新佐渡戦略会議は、2年にわたって19人の方々から政策についてのアドバイスをいただいた。これもいつまでも必要かどうかという問題については、

いろんな組織や諮問機関あるいは委員会が一定の役割を終えれば、当然いつまでも残るということではない。

定住の問題について、昨年までの3か年の間に約5000人の方々が佐渡に戸籍を移している一方、ほぼ同数の住民が佐渡から離れている。一生懸命やったつもりで30人、40人と空き家対策をしてきたが、残念な結果である。そこで、U・イターン者、移住者を中心に、すでに住んでいる人たちが新たに入ってくる人たちを迎える仕組みを作った。いろんな研修会や懇談会をやりながら、新たな組織を発足したばかりなので、これからだと考えている。



政和会

猪股 文彦 議員

## 不況、U・イターン、

### 人口政策に重点を



**【質問】** 去る2月24日の災害で、朝早くから大川、水津、東強清水を回ったが、今まで見たこともない津波のような高波であった。国、県、市は早急に被災者への手厚い援助をすべきである。

また、高野市長は「にぎわいの街づくり」を強調しているが、そのためには、経済が活性化し、人が行きかい、物が流通しなければならぬ。

まず、団塊の世代のU・イターンを呼び込むため、980万円で100坪の土地に15坪の家を築くようにする施策。また、試算によると200億円といわれる佐渡のお金を佐渡に止めておくため地元発注、地元購買の徹底を図ること。さらには、私が提案し成功した合宿誘致をさらに拡大すること。そして、地元企業支援のための緊急金融支援策が必要だと考える。合併してから4年間で200近くの企業が店じまいしている。これらの対策を問う。

**【市長】** 災害当日、猪股議員が災害現場で奮闘していたことに感謝する。対応はしっかりとやる。北埠頭開発に直ちに

早急な景気対策が  
望まれる



# 代 表 質 問

市民クラブ

小杉 邦男 議員

## 国の言いなり合併の責任と独断市政を質す



**質問** 合併4年を経て、住民からの批判が高い。先頭に立つて合併を推進した市長の政治責任を問う。

**市長** 財政だけでなく、しなかつたらどうなっていたかを考えることも必要。これから合併する村上市の例もある。皆さんの判断を賜りたい。

**質問** 就任当初のイントラネット事業を始め、市民の声を無視して独断専行、政策を強行してきた。また、妙見山頂への軍事リーダーの配備は、島民説明もなく容認した。これらの政治姿勢に反省と謝罪を求める。

**市長** イントラネットもケーブルテレビも合併前に二部実施されたものである。対岸との間に緊迫度の高い中、自ら守る必要があると考えた。

**質問** 400人を超える介護施設入所待機者の、特養・老健施設の増設が急がれる佐渡の実態から独自対策が求められている。考えを問う。

**市長** 当面、特養・老健の2施設が民間施設としてでき、200人の待機者が解消される。今後は小型、準民間施設を設けて対処していきたい。

**質問** 住民は相川・両津の両病院の存続と充実を求めている。今後の考えを問う。また、相

川で運行している患者輸送車の存続を求める。併せて島民の公共交通手段としてコミュニティバスワンコインバス運行を求める。

**市長** 佐渡病院を基幹病院とするネットワークを組むことにより医師の確保もしやすくなると考えている。国の公共交通活性化プログラム事業に手を挙げている。新しい仕組みで安心便利な交通手段を作っていきたい。

**質問** 子どもの未来や地域を守るため、押し付けの保育園・小中学校統合計画に反対する関係者と話し合い、慎重に対処することが必要である。また、学校現場でのいじめ、不登校とスクールカウンセラー等の充実を求める。

**市長** 単に合併すればいいとは考えてはいない。関係地域と話し合いを十分にして進める。

**質問** 観光の中心、相川に観光拠点として「おけさ観光センター」の建設を急ぐ必要があるのではないか。

**市長** 相川にはまちづくり交付金事業等での力を入れていく。おけさ会館には、文化と伝統を存続させる目標も必要である。

**質問** 平和政策として「佐渡市非核平和都市宣言」を宣言する考えはないか。

**市長** 平和であることに越したことはない。市民との意識の流れを見極めて検討したい。

地域政策研究会

本間勘太郎 議員

## 安全・安心の島づくりへの対策



**質問** 国境を越えて漂着したごみの対応について問う。

**市長** 2月15日のポリ容器漂流漂着の事案については、ポリ容器漂流漂着対応会議を開催し、対応について漁協を通じて漁業関係者に周知し、市民にはホームページやCNSテレビでお知らせした。

今後も沿岸防犯協力会を中心に情報の共有化を図り、県、海上保安署、警察署等関係機関と連携し対応していきたい。

**質問** 2月24日の高波被害を教訓に、自主防災組織、防災無線、有線テレビがどのように活かされたのかを問う。

**市長** 既存の情報伝達手段を最大限活用するよう日ごろから地域への積極的なかわりを強化している。被害内容についてはCNSテレビ等で伝えていくが、今後より素早い対応をしていきたい。

**質問** CNSテレビ事業の決定経過と活用方法について問う。

**市長** ケーブルテレビの整備は合併前に決められていたもので、情報格差の解消に大きく貢献している。インター

ネットや図書館の図書検索、IP電話、浄水場の監視などで活用し、行政コストの軽減も図られている。

**質問** 11月、1月と大規模火災が発生し、佐渡市の消防体制についての指摘が聞かれる。安全安心の要である消防体制の立て直しが急務と考えるが。

**市長** 消防本部庁舎の建設に合わせ、組織の見直しを考えている。指摘のとおり地域と密着した体制強化に努めていきたい。

**質問** 安全な食材を提供することで、環境に優しい佐渡をアピールできると考えるが、観光立島佐渡の再構築に取り組み決意を聞きたい。

**市長** 人口減の中、何度も来ていたただける人を増やさなければいけない。安全な食を保障する仕組みを「環境にやさしい島づくり」の中で進めていきたい。農業では朱鷺と暮らす認証米制度がスタートする。セールスマンとして佐渡の産物が高く、またたくさん売れるよう努力するチャンスをいただければと思っている。





## 一般質問



# ココが聞きたい!!

- 大澤 祐治郎 議員…………… 10
- ◆観光看板に偽りあり
- 村川 四郎 議員…………… 10
- ◆島のガソリンを  
下げて道路も造る
- 田中文夫 議員…………… 11
- ◆第2期高野市政を前提として
- 臼杵克身 議員…………… 11
- ◆将来ビジョンを示し  
合併成果を早く上げよ
- 加賀博昭 議員…………… 12
- ◆下水道水洗化率向上で  
給与削減は中止できる
- 金光英晴 議員…………… 12
- ◆農業・林業振興について
- 祝 優雄 議員…………… 13
- ◆佐渡再生に今何が必要なのか
- 廣瀬 擁 議員…………… 13
- ◆地域の安心・安全は  
だれが守るのか
- 本間千佳子 議員…………… 14
- ◆予算編成は細やかに  
政策には温かさを
- 肥田利夫 議員…………… 14
- ◆20年度施政方針について
- 松本展国 議員…………… 15
- ◆離島に対する  
交通政策を国に問え
- 中村良夫 議員…………… 15
- ◆生活と漁業が再建されるよう
- 島倉武昭 議員…………… 16
- ◆自治体で初の出産費無料化を
- 近藤和義 議員…………… 16
- ◆本土とのガソリン価格差解消策

一般質問

大澤祐治郎 議員

観光看板に  
偽りあり



**【質問】** 高野市政4年間は、合併佐渡をどのように創造したか。佐渡市の体力を後退させ、極集中主義が露骨に眼に付く。中心地と過疎地との環境格差が広がり、役所は遠くなり、生活サービスが大きく失われたと市民の嘆き節が聞かれる。市長はこの4年間に佐渡市に何を創ってどんな方向に佐渡の将来の位置をどうしようとするのか、方向性が全く見えてこない。人口増加策、税の増収策をどのように克服して、安心と安全が約束される市政の安定を図るのか。基幹産業である観光に力点を置くと4年間に何度か聞いたが、市長に近現代観光に不可欠な空港整備は遅々として進まないばかりか、小木航路の減便が決定している。日本の5大民謡の佐渡おけさが公演場が無く

**【質問】** 災害に強い島創りが口上であるが、高波で、170億円もの被害を受けてしまった。災害を逆手に取ってこの際、県に両津赤玉線の強烈な必要性を納得させるべきだ。貴重な代替道路として市民の生命を守る役を果たしている。情報があつても道路がなくては人の命は救えない。早急に拡張工事を実現させるには、この被害は天の声であろう。真剣な対応をすべき、どうする。

**【質問】** 野外公演をせざるを得なかった。市政の無責任さを何の反省もしていない。佐渡会館のアスベスト除去を注意し、商工会や観光協会を併設、観光相川に恥ずかしくない拠点観光の基地として復興に努めると警鐘乱打をしてきたが一向に動こうとしない。おけさ観光の島で、おけさ踊りを見れなくなれば看板に偽りとなつて観光の柱を失い全国の観光客に相手にされなくなる。観光客に相手にされなくならない。本気で観光立島を考えているのか。真剣さが全く足りないがどうするか。**【市長】** 空港整備は最大限、県、地元に対しても努力していく姿勢に変わりはない。

**【質問】** さて、2期目を目指す最大の目玉は何か。何をしたいと考えているのか。市長の4年間すべてがマイナス結果である。身内向けの政策だけで市民向けの政策はほとんど見えない。兄が発注者で弟が受注者である。政治姿勢に強く反省を促し、次期の目玉政策を尋ねる。**【市長】** 答弁なし。

一般質問

村川 四郎 議員

島のガソリンを  
下げて道路も造る



**【質問】** 道路特定財源は一般財源化すべきでは。  
**【市長】** 佐渡は道路整備の必要が多く道路財源の確保を陳情している。市には特定財源が4億円ほど来ている。  
**【質問】** ガソリン税を撤廃すると住民に10億円以上の減税効果がある。全国離島振興協議会長として、離島だけのガソリン税撤廃運動を起すべきでないか。わずか400億円ほど減らすだけでガソリンは下がり、道路財源もきて、全国の島が大歓迎する。  
**【市長】** 離島のハンディ撤廃を政府に働きかける一層の努力をする。



総合病院建設を早く

**【質問】** 誘客支援、ジェットフォイルの新潟・小木間の実験運航、連休期間中の両津への直行バス運行等が決定した。  
**【質問】** 高齢者の公民館活動への配慮について  
**【質問】** 高齢者の公民館活動は、介護や医療保険面から考えれば値上げでなく無料化して参加活動を支援すべきでないか。  
**【教育長】** 平成20年度からは、3割の受益者負担をお願いしたい。  
**【質問】** なぜ遅れる医療政策  
**【質問】** 市民病院改革、医師確保対策、佐渡総合病院の建設姿勢が後退しているのではないか。  
**【市長】** 総合病院建設は島民に必須の問題。近く厚生連の中期財政計画が承認される見通しで市民病院改革と  
**【福祉保健部長】** 厚生労働省のフッ素洗口のガイドラインに沿っている。薬害事件の心配はない。



一般質問

田中 文夫 議員

## 第2期高野市政を前提として



**質問** 市民を主体とした地域自治組織を強化すべきでないか。

**市長** 本庁く支所方式が適切な受け皿とは思っていない。地域審議会についても一考の余地がある。いろいろと検討していく。

**質問** 佐渡総合病院を中核とした医療のネットワークの構築と公立病院の民営化を促進すべきでないか。

**市長** 公設民営化の鍵は市がインシアティブを執れるかどうかである。病院については真剣に取り組む。

**質問** 病院周辺を老病者の安心安全な居住地域に整備すべきではないか。

**市長** 新設佐渡病院を中心とした医療福祉のまちづくりを都市計画の観点からも今後協議していく。

**質問** 出産援助制度の拡充(妊婦健診料・出産費の無料化)を図るべきではないか。

**市長** 時宜を得た提案である。

トライしてみたい。

**質問** 小中学校の統廃合促進(体育・クラブ活動の合同・校区の廃止)は。

**教育長** 学校・校区の垣根を外して積極的に交流することが統廃合を促進すると考えている。

**質問** 年金受給者の活力を福祉・保健に導入し、生涯現役の助け合い・分かち合いの互助組織を育成すること考えるが。

**市長** 生活が安定していないとなかなかボランティアもできない。これからそういう方々の掘り起こしをしていきたい。

**質問** 稲作経営の安定化策の推進とともに、多様な農産物栽培と地産地消の仕組みをつくることは。

**市長** 学校給食センターの地消率を高める。JAとも話し合い、発注から栽培に至る有機的な連携を大事にした産物の作り方を研究する。

**質問** 島出身者が気軽に安価で訪島できるよう滞在型の宿所の提供と交通費の割引を実現するべきと考えるが。

**市長** 島を離れた方々の佐渡への思いを経済的にも「ふるさと納税」のような形で反映されたらありがたい。首都圏佐渡人会等とも連携し、「佐渡準市民制度」を普及したい。

**質問** 市街化地域の下水接続促進のための補助増、田園地域の下水道敷設の見直しの実施は。

**市長** 新しい仕組みは考えなければならぬ。補助金も出し方の工夫が必要と考えている。

**質問** 芸能と伝統文化の継承と人材育成を支援し、「佐渡学」の構築に資することは。

**教育長** 指定文化財である人形芝居、能、子供鬼太鼓の教室、鷺流狂言の育成を支援している。今後は、伝統文化研究所を中心に、佐渡固有の歴史や文化あるいは自然に関する調査研究、いわゆる「佐渡学」の推進を図るために大学や研究機関とも連携して専門家の育成に努める。教育センターで「佐渡学」の学習カリキュラムを構築したので学校に導入していく。



一般質問

白杵 克身 議員

## 将来ビジョンを示し 合併成果を早く上げよ



**質問** 若者が定着できる将来ビジョンと合併の成果を早く上げることが重要。平成20年度予算に具体策が盛り込まれたか。

**市長** 美しく環境に優しい島づくりの理念のもと賑わいの島づくりにより市民が自信を持って誇れるまちづくりを目指した。トキの試験放鳥、世界遺産登録関連及び文化財の調査・保存管理等を計上した。地域への細やかな配慮や市民との協働を進め、夢のある島づくりに努めたい。今まで種を蒔いたいろいろな施策とプロジェクトの果実の回収を図りたい。

**企画財政部長** 地域再生の一ツとして、バイオマスエネルギーの活用実証事業の継続、医師確保等地域医療の充実を図る。少子高齢化対策では学童保育の充実、高齢者への生活支援を盛り込んだ。生活基盤整備はもとより、産業の振興については朱鷺と暮らす郷づくり認証制度、企業誘致の推進、観光誘客支援事業を進める。

**質問** 空港対策特別委員会の報告事項を尊重する。現空港整備計画の実現を第一義とし県と連携を深め、未同意地権者との交渉を精力的に進める。期限を付けての交渉は地権者及び県との絡みを見図りながら進める。

**市長** 空港整備を急げ

**質問** 世界から観光客誘致を図る上で、また佐渡の産業の発展に空港整備が不可欠である。取組みの決意を聞きたい。

**市長** 空港対策特別委員会の報告事項を尊重する。現空港整備計画の実現を第一義とし県と連携を深め、未同意地権者との交渉を精力的に進める。期限を付けての交渉は地権者及び県との絡みを見図りながら進める。

**質問** 改正建築基準法の施行に伴う真野小学校改築工事の遅れと今後の見通しは。

**建設部長** 真野小学校改築工事は、建築確認申請の構造適合性の判定中。3月中旬の確認済みとなるよう協議を進めている。

**市長** 能登・村上・山形との広域連携は、かつて北前

**学校教育課長** 真野小学校改築工事の完成日処は平成21年8月の見込み。



### 広域的観光ルートの開発を

**質問** 能登く佐渡く村上方面との広域観光ルート開発を推進しては。

**市長** 能登・村上・山形との広域連携は、かつて北前

船で結ばれ関係の深いルートである。提案の趣旨を踏まえて取り組みたい。

### 佐渡空港整備を急げ

**質問** 世界から観光客誘致を図る上で、また佐渡の産業の発展に空港整備が不可欠である。取組みの決意を聞きたい。

**市長** 空港対策特別委員会の報告事項を尊重する。現空港整備計画の実現を第一義とし県と連携を深め、未同意地権者との交渉を精力的に進める。期限を付けての交渉は地権者及び県との絡みを見図りながら進める。

**質問** 改正建築基準法の施行に伴う真野小学校改築工事の遅れと今後の見通しは。

**建設部長** 真野小学校改築工事は、建築確認申請の構造適合性の判定中。3月中旬の確認済みとなるよう協議を進めている。

**市長** 能登・村上・山形との広域連携は、かつて北前

**学校教育課長** 真野小学校改築工事の完成日処は平成21年8月の見込み。



一般質問

加賀 博昭 議員

### 下水道水洗化率向上で 給与削減は中止できる



**【質問】** 下水道の水洗化率48%のため、収入4億8752万円に対し、支出は18億7721万2000円だ。差引金不足は13億8969万2000円になり、

税金の約25%が国の返済金になる。一方、金不足で職員の給与年間3%削減で、約2億円。1人当たり10万円の削減を2年間行うと言う。

それなら、1000人いる職員組合に下水道水洗化を年500件加入を条件に、2年目の3%削減を中止する

くらいの提案をすれば下水道財政が飛躍的に改善され、職員も励みになり、勇

気が出るのではないかと。これは面白い提案である。早速、総務部長に言

って組合に話しかけてみる。

**【質問】** 自動車燃料米事業は、安倍内閣総理大臣が地球温暖化防止事業として、平成

23年度までに実施することと期限を定めた事業である。

私が10アール当たりの経済試算をした。国の補助金等

4万4000円、米売り渡し金額1万8000円、合計6万2000円。アルコ

で、「市報さど」2月号で発表し、市民にも約束して

いる。ところが現場ではそうなっていない。特に2項

目の「フッ素洗口の希望者把握については申し込み制

をとることとします」が守られていない、市長に答弁

を求める。

**【質問】** 両尾・羽二生水道開

発者から「住民監査請求」が出ていますが、この水道は

19年度から上水道に編入されている。監査請求とは別に

給水の手続きがあれば、給水は可能のはず、長い間

給水しないのは人道上も問題であると考えるが。

**【監査委員事務局長】** 2月15日住民監査請求が出され、地

方自治法第245条の要件を満たしており、60日以内に

結論を出し報告する。

**【水道課長】** 住民監査請求とは別に、給水の申し入れがあれば給水できる。

**【質問】** フッ素洗口問題では、大竹副市長は市民厚生常任

委員会4項目の誓約をして、「市報さど」2月号で発表し、

市民にも約束している。ところが現場ではそうなっていない。特に2項

目の「フッ素洗口の希望者把握については申し込み制をとることと

します」が守られていない、市長に答弁を求める。



**【質問】** 両尾・羽二生水道開

発者から「住民監査請求」が出ていますが、この水道は19年度から上水道に編入されている。監査請求とは別に給水の手続きがあれば、給水は可能のはず、長い間給水しないのは人道上も問題であると考えるが。

**【監査委員事務局長】** 2月15日住民監査請求が出され、地方自治法第245条の要件を満たしており、60日以内に結論を出し報告する。

**【水道課長】** 住民監査請求とは別に、給水の申し入れがあれば給水できる。



一般質問

金光 英晴 議員

### 農業・林業振興について



**【質問】** 地域水田農業活性化緊急対策の取組み状況はい

かに。

**【市長】** 国が米の過剰作付けを解消するために打ち出した生産調整の平成20年から

24年までの5年計画で、国の強い意思を表しているが、

によって利益を生み出せる生産調整を守らなかつた人

との調整に異論があるところである。

**【質問】** エタノール米への取組み状況について。

**【市長】** 環境対策と産業振興の意味から事業をスタート

した。佐渡市では未だ実験中で極めて小規模の3年計

画実験の2年目に入ったところであるが、国の支援を

得て是非成功させたい。

**【質問】** 米の戦略的販売予算が大幅に増額となっている

がどのような取組みをする

のか。

**【市長】** トキの放鳥に合わせた「朱鷺と暮らす郷づくり

認証制度」が立ち上がる。

**【林業振興について】**

**【質問】** 森林整備の担い手をどのように考えているのか。

**【市長】** 林業に従事することによって利益を生み出せる

仕組みを、例えば、市の発注する事業に佐渡産材使用

を指定したり、間伐材のチップ化利用し

たりするなどの促進をする。

**【質問】** 市として加工、流通をどのように支援する

のか。

**【市長】** 加工工場の規模が小さく、現状は島外に持ち出さなければ

ならない状況である。

**【質問】** 佐渡杉ブランドの認証への品質基準や認証機関はどうするのか。

**【市長】** 越後杉ブランドとほぼ同等の品質と価格を目標としている。

**トキの自然放鳥について**

**【質問】** トキ放鳥の実施時期と天皇陛下の行幸をお願い

できないか。また、放鳥記念式典の形式はいかにする

のか。

**【市長】** 放鳥は今年秋で、天皇陛下に来島いただきたい

と知事からもお願いしている。記念式典は、環境省、

新潟県、佐渡市が連携して実施する。



エタノール米の直播作業



一般質問

本間千佳子 議員

予算編成は細やかに  
政策には温かさを



市民環境行政について

く30トン規模の範囲を回収していく。

**質問** 一昨年から波の異変を感じ、原因は地球温暖化にあるのではと思いついて巡らしているところである。3月6日、学術博士でもあるK参議院議員から「環境モデル都市」について、首相官邸での懇談会で正式に取り上げられ、公募の情報をいただいた。意欲ある立候補した都市から、6月中旬に10か所選定をし、地域活性化関連予算等で応援する内容である。

**質問** 身近な所の資源再利用の考えから、古紙リサイクルの対応と佐渡市集団資源活動の実態を問う。

**市長** 非常に良い提案なので「環境モデル都市」に応募するか否か検討する。

**市民環境部長** 古紙のリサイクルは年々増加している。合併当時に統一されていない所があり、分別内容を精査して資源ごみのリサイクル化を進める。

**質問** 戸籍謄本に「長女」と「次女」の2つが記入されている例があった。続柄表示の解明を求める。

**市民環境部長** 法律上、新法と旧法があり、昭和22年に改正された記載方法と以前の形式のものがある。本人の申し出により、職種でできることになっている。

**市民環境部長** ごみ袋を両津で12集落の約6000枚、相川では2集落の1500枚支給し、分別した物を3月1日から回収した。できるだけ早

**子育てを楽しめる社会づくりを**

**質問** 出産祝金は議論を重ねる課題と考える。少額でも商品券や品物でも良い。次代を担う子どもの誕生を祝福する心、健やかな成長を願う気持ちを形に現す姿勢が大切と考える。トイレにベビーチアの設置や、パパママセミナーの推進など、子育て環境づくりの取組みを問う。

**市長** 出産祝金は平成19年3月に廃止させていただき、国の制度でカバーできると考えている。保育所の経費は県でも一番に安くしている。佐渡で産まれる子どもの出産費用はゼロにする基準を進めている。安心して子育てのできる厚い制度を考えており、地域ぐるみで子育てを楽しめる応援をしたい。

自治体の「出産祝い金」の例

自治体名	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子以降
岐阜県高山市	10万円	10万円	20万円	20万円	20万円
愛知県岡崎市	—	—	20万円	20万円	20万円
愛媛県八幡浜市	—	—	10万円	30万円	30万円
兵庫県養父市	—	—	10万円	10万円	10万円
滋賀県近江八幡市	—	—	10万円	10万円	10万円
茨城県常陸大宮市	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円
福島県矢祭町	—	—	50万円	100万円	150万円
北海道栗山町	—	—	30万円	50万円	100万円
鳥根県津和野町	—	—	15万円	15万円	15万円
静岡県川根本町	2万円	3万円	5万円	5万円	5万円

一般質問

肥田 利夫 議員

20年度施政方針  
について



18年度決算審査意見に対する

**市長** 長期高額滞納者には資産の差し押さえ等を積極的に行う。

**質問** 市道用地の登記未済地に課した資産税の即刻還付と非課税措置を。

**質問** 「地方公会計改革」に伴い、発生主義会計、複式簿記方式とし、公営企業や三セクとの財務書類4表を住民に公表し、連結赤字が30%で財政再生団体となる。佐渡市はどう取り組むか。

**市民環境部長** 新年度から非課税措置をとる。

**市長** 20年度にはバランスシートと行政コスト計算書を整備し公会計の姿が解りやすい形で示せるよう努める。

**質問** 26億円に余る収入未済がある。税負担の公平性から、今後の対応策は。

**質問** 陸上競技場の設置について市長は「どうしても強力でやりたい」という必要性が認められれば踏み込んでいかなければならない」と言うが今後の対応は。

**教育長** 校舎建設計画の優先度等総合的に判断する。

**質問** 空港対策事業で、事業者の要望で県は要綱

を変更し赤字の90%を県と市で負担しているが、整備の進捗度と要望の内容は。

**市長** 地権者の同意率は90%、進捗は数年間なし。

**企画財政部長** 要望書の内容は、運航委託方式で、路線事業として欠損が出ない形態に、とのものである。

**組織改革と庁舎位置について**

**質問** 部制を続け、支所機能縮小の理由は。庁舎の位置は、合併説明資料に事務所の位置「金井町大字千種23番地」、合併後建設する新庁舎の位置「金井町大字千種沖」とあるが「大字千種沖」は存在しないことが後刻判明した。最初の臨時会で315件の専決処分の承認があった。時の職務執行者に確認したが、事務所の位置は決め、庁舎は建築時に協議することであったが。

**市長** 庁舎位置については、合併協定書がルールブックになっている。

市道登記漏れ筆の非課税処理及び地区別内訳(平成19年4月1日)

	平成19年度3月調査時の市道登記漏れ件数		H19.3課税調査結果	
	路線数	筆数	課税路線数	課税筆数
両津	49路線	326筆	14路線	25筆
相川	11路線	235筆	6路線	62筆
佐和田	3路線	12筆	1路線	3筆
金井	76路線	248筆	1路線	1筆
新穂	65路線	147筆	17路線	25筆
畑野	25路線	66筆	13路線	26筆
真野	68路線	461筆	61路線	359筆
小木	3路線	11筆	0路線	0筆
羽茂	33路線	87筆	1路線	1筆
赤泊	23路線	125筆	10路線	34筆
合計	356路線	1718筆	124路線	536筆

(1718筆の内訳 非課税分 1182筆 課税分 536筆)

**質問** 空港対策事業で、事業者の要望で県は要綱



受付印がない、なぜか？



一般質問

松本 展国 議員

### 離島に対する 交通政策を国に問え



**【質問】** 佐渡汽船の経営再建策に振り回され続けている。当局にとつて、また難題が持ち上がった。佐渡航路欠航時に貴重な使命を果たしてきた航空路が、航空会社の経営事情により、本年9月末をもって撤退するという。しかし、当局には航路・空路を維持・存続できる財政的体力は限界に達し

ている。一方、県も佐渡に對する交通政策はどうあるべきか、認識が全く不足している。全国離島振興協議会の会長である市長は、離島に對する交通政策はどうあるべきか、法整備・制度改正を求めて国と本格的に交渉すべき時期にきていないか。

**【市長】** 本土と離島との間には、利便性において大きな格差が生じてきているが、離島に住む国民も本土に住む国民と同じレベルで生活する権利を有している。離島振興法もその中で、離島の位置付けを明確にしており、離島振興協議会としては、島民が安心して暮らせるよう航路・空路も含めて問題解決に向けて努力しているところであり、理解願

温泉施設の廃止について

松本 展国 議員

**【質問】** 旧市町村にそれぞれ存在した温泉施設が合併により財政運営の重荷になり一部廃止が進められているが、今後どのようなふうになるのか。また、温泉施設も一種の厚生施設としての使命を負っているものであり、使わなくなった施設として存続させていかなければならぬが、存続か廃止かの選択基準はどこにあるのか。

**【市長】** 佐渡市健康保養センター等運営委員会の答申は5年以内で4施設にするようにとの内容であったが、どこを残すかについては決まっていない。ただ、「ゆとりぴあ真野」については、3月31日で閉鎖が決まっている。

**【福祉保健部長】** 施設の存続か、廃止かについては、過去の運営実績、収容能力、地域バランス等に配慮しながら慎重に検討していきたい。

生活と漁業が  
再建されるよう

中村 良夫 議員

### 生活と漁業が 再建されるよう



**【質問】** ベテラン漁師でも初めてという高波が前浜地区や内海府を襲い、甚大な被害をもたらした。近年顕著な異常気象に伴い、通常とは異なる北東方向から強い波が押し寄せたためとも言われている。佐渡市の沿岸部全体の護岸対策、高波対策が万全か早急に総点検すべきではないか。

**【産業観光部長】** 水産庁含め、検討委員会で調査し、結果を踏まえ、防波堤等の漁港整備に生かしていく。

**【質問】** 高波による離岸堤沈下、海岸護岸決壊、突堤・道流提沈下など多数みられる被害を拡大したと考えられるが、応急措置や修復を急ぐとともに、抜本的な増強策、再発防止策が講じられるよう、国・県に強く働きかけるべきではないか。

**【産業観光部長】** 国・県へ強く

求めていく。

**【質問】** 厚生労働省の「妊婦無料の妊婦健診回数について」

**【質問】** 厚生労働省の「妊婦健康診査の公費負担の望ましいあり方について」の通知を受け、県内35自治体中、糸魚川市が国の基準を上回る15回、16自治体が5回の公費負担を実施している。佐渡市は4回だが、最低限5回実施しなければならぬと考えるが。

**【福祉保健部長】** 県内、5回の自治体は増えている。検討するよう、高校の募集学級増も含めて県教育委員会に強く働きかけるべきではないか。

**【教育長】** 市立学校の再編に大きくかわってくるので、見守る必要がある。





一般質問

鳥倉 武昭 議員

## 自治体で初の 出産費用無料化を



**【質問】** 高野市長の最後の平成20年度予算編成においての重点施策は何か。

**【市長】** 基本的には産業振興により地域が元気にならなければ始まらない。一つひとつ予算内では踏み込めない。交流人口を増やすためにも環境にやさしく美しい住みやすい島づくりを目指す。

**【質問】** 今年秋にはトキの放鳥が実施される予定と思う。この機会を利用してメディアを活用しての佐渡を宣伝する計画があるか。

**【市長】** 6月に新潟の朱鷺メッセで開催されるG8でトキと佐渡金山の世界遺産登録の取組みをメディアを通じて積極的にアピールしていきたい。民間も活用しての佐渡宣伝を進めたい。

**【質問】** 携帯電話は1人1台の必需品となった昨今であるが、

残念なことに電波が届かない不通地域が多くある。この不通地域の整備にはあと何年くらいかかるのか。

**【市長】** 昨年6月に県の指導のもと現地調査を行った結果4地区約600世帯あった。20年度小木半島の一部、真野笹川地区で解消予定。

**【質問】** 私は毎回の質問で、結婚問題と少子化対策について取り上げてきた。全国の自治体で、

まだどこも実施していない出産費用の無料化を計画する考えはないか。

**【市長】** 出産費用の無料化制度に



については若者夫婦の負担の軽減を図る上で本格的に検討を進め、ぜひ実現させたい。

**【質問】** 行財政改革により、昨年まで実施されていた商

工、農林水産関係の各種イベントへの補助金が大幅に削減されたと聞かすが、20年度予算ではどの程度になったか。

**【産業観光部長】** イベントについては各課毎にバラツキがないような形で有効に利用できるよう進めていきたい。



一般質問

近藤 和義 議員

## 本土とのガソリン 価格差解消策



**【質問】** 昨年9月議会で「離島に対するガソリン税軽減の離島振興法の一部を改正する法律案を提出する動きがあるが、市長は全国離島振興協議会長として関係議員にお願いと要請をすべき」との私の質問に答えて

「参議院中心の民主党と自民党のプロジェクトチームも立ち上がっているので揮発油税軽減に向けて動きやすい状況にある」と答弁した。その後、どのように動いたのかその進捗状況を問う。

**【市長】** 今回、佐渡市では消費者協会のクレームにより公取への提訴をした。また、プロジェクトチームはヒアリングが2回行われているが、本質的には複雑な問題がある。

**【質問】** 2年前民主党は、離島におけるガソリン税の減

税を柱とした離島振興法改正案を提出したが、自民党多数の国会状況下において廃案となった。現在、民主党は全国の離島で、この実現のために署名活動をしており、その数は5万人を超えている。近々に再度国会にこの法案を提出するが、

全国離島会長の高野市長にお願いしている。近々に再度国会にこの法案を提出するが、

費用が削減されているのは、主に水産業費の縮減であり、漁港整備等が終了したためである。今後は農業等一次産業の振興に努める。

**【市長】** 全離島の役員会又は総会にかけて当然行動に移すことになると思う。具体的にどのような形になれば動き出すと考えている。

**【質問】** 高野市政4年間は、基幹産業である農林水産業費の大幅削減（平成15年度対比マイナス57%）の運営

であり納得できない。正に一次産業切り捨ての4年間だったのではないか。また性質別歳出では、人件費の構成比が19・6%から20・4%に増加しているのに対して、投資的経費（建設事業費）は1/2以下のマイナス53%である。経済的波及効果を考えると、この財政運営では全体の市民益を損ねており、このことが現在の佐渡市経済低迷の大きな要因ではないか。

### 高野市政4年間の 財政運営について

高野市政4年間は、基幹産業である農林水産業費の大幅削減（平成15年度対比マイナス57%）の運営であり納得できない。正に一次産業切り捨ての4年間だったのではないか。また性質別歳出では、人件費の構成比が19・6%から20・4%に増加しているのに対して、投資的経費（建設事業費）は1/2以下のマイナス53%である。経済的波及効果を考えると、この財政運営では全体の市民益を損ねており、このことが現在の佐渡市経済低迷の大きな要因ではないか。



# 常任委員会活動報告

## 総務常任委員会

31議案を審査し、議案はすべて可決しましたが、次の意見を付けました。

佐渡市職員の給与の特例に関する条例の制定については、医師を除く職員の給与を2年間で3%減額する内容であるが、その根拠は不明確で当面の打開策にすぎない。財政計画に基づき削減であれば中長期的な視野に立ち根本からの見直し計画にすべきである。平成20年度一般会計予算については、

(1) 行政改革を強力に推進する必要がある。市の行政状況を直視し、類似団体の行政水準を十分斟酌して将来見通しを見定めた行政運営を図ること。

(2) 審議会、検討委員会については、その必要性を十分検討し、安易な設置は避けること。

(3) 交流・定住促進対策事業、新佐渡戦略事業、及び東京事務所運営費、並びに両津港埠頭地区開発計画策定事業については、継続事業であるが、具体的な施策がなくその成果が見えてこない。よって、予算執行に当たっては費用対効果が図られるよう事業内容の再検討を求めらる。

(4) JF運航社会実験補助金については、昨年3月定例会の総務常任委員長報告において、小木直江津航路利用促進補助金は「今年度限り」と意見を付したが、その趣旨を理解していな

い。これまでの佐渡汽船の赤字対策等への出資、事業補助に見られるように、関係機関の危機感がまったく感じられない。当委員会の大勢は予算修正すべきとの意見が強かったが、市長の政治判断であることを理解し、苦渋の選択をした。よって、その経緯を踏まえての予算執行に当たること。

(5) 電算システムに関する委託料について、システムの利用状況を把握して利用度の低

いシステムについては必要性を再検討し、無駄を省くこと。



## 市民厚生 常任委員会

3月定例会における当委員会の付託案件は、条例9件、平成20年度当初予算6件、平成19年度補正予算5件、その他2件であり、審査の結果、いずれも原案どおり可決すべきものとして決定いたしました。

主な案件とその内容は次のとおりです。

(1) 議案第16号 佐渡市後期高齢者医療に関する条例の制定について

本案は、本年4月に施行される「後期高齢者医療制度」において市が行う事務等につい



て定めるものであります。なお、「後期高齢者医療制度」は、75歳以上の後期高齢者の医療費について、後期高齢者自身の保険料と医療保険者の支援金及び公費により賄う制度であります。

(2) 議案第18号 佐渡市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、「後期高齢者医療制

度」の施行に伴い、国民健康保険の賦課方式に不均衡が生ずるため、これを是正するよう当該保険税の資産割を廃止するものであります。

(3) 議案第21号 佐渡市保育園の設置及び管理に関する条例の制定について

本案は、本年3月末日をもって北狄保育園を廃止し、及び来年4月から真野第2保育園に指定管理者制度を導入するものであります。

(4) 議案第23号 佐渡市健康保養センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、公共温泉施設の運営見直しにより「ゆとりぴあ真野」及び「おぎの湯」を廃

止するものであります。付託案件のほかに、当委員会の所管に属する事務4件について調査を実施しました。

このうち「フッ素洗口事業」については、虫歯予防のため学校等において児童等にフッ化ナトリウム水溶液を用いたうがいを行わせるものでありますが、昨年3月の当委員会の指摘がもととなって予算執行が一時停止となった経緯がありました。

委員からは、保護者へのインフォームド・コンセントが未だ十分ではないなどとする意見などがありました。したが、執行部から次のような回答があったことを受け、本件の調査を終了いたしました。

(1) 事業の実施に当たり保護者等に配布する説明資料の内容については、委員会と合意したとおり修正する。

(2) 佐渡市「蝕予防事業実施要領」については、当該要領中「説明会又は研修会」を「講演会、説明会又は研修会」に改める。

## 産業経済常任委員会

2月24日の風浪被害に対し産業経済常任委員会は2班に分かれて調査をしました。各集落とも被害は大きく、早急に措置し



埋設農薬の現地確認

なければ再び大災害が惹起する可能性があり、佐渡市議会として市長が国・県に対し直ちに復旧工事に着手するよう求めることを議長に要請書を提出しました。

また、漁業施設災害復旧工事に限らず、被災者の生業確保のため早期操業実現について、市としてあらゆる手立てを講じるよう平成19年度佐渡市一般会計補正予算(第7号)について意見をつけました。

当委員会に付託された議案は6件と平成19年度一般会計補正予算(第6号)、同(第7号)及び平成20年度一般会計予算に係る予備審査でした。審査の結果、議案と予備審査はいずれも可決しました。

(1)公有水面埋立てに係る意見について(大杉地内)

佐渡市が実施する地域水産物供給基盤整備事業(一般)により漁業施設用地を造成するため、公有水面を埋立てするものであります。

(2)新たに生じた土地の確認について(鷺崎地内)

字の変更について(鷺崎地内)  
新潟県が鷺崎漁港内において漁港改築事業により施行した漁

港施設用地の造成工事が完了し、新潟県知事の竣功認可を得たので、新たに生じた土地の確認及び字の変更するものであります。

(3)新たに生じた土地の確認について(江積地内)

字の変更について(江積地内)  
佐渡市が江積漁港内において地域水産物供給基盤整備事業により施行した漁港施設用地の造成工事が完了し、新潟県知事の竣功認可を得たので、新たに生じた土地の確認及び字の変更するものであります。



当委員会に付託された議案は25件であり、一部の議案に意見を付け、すべて全会一致で原案どおり可決しました。

まず、平成20年度一般会計予算については、陸上競技場の整備を引き続き検討されるよう要請しました。また、佐渡市宅地造成特別会計予算については、佐渡飛鳥団地の残り1区画の売払いに係る予算ですが、早期に完売するよう強く求めました。

給食配送車購入契約の議案については、車両を入札する際には、今後、メーカーや型式を指定しないで構造等を指定することにより、より公正な入札となるよう意見を付けました。

さらに、所管事務の調査として、真野小学校や国仲給食センター等の建築基準法改正による建設遅れ、フッ素洗口事業、子どもの権利条約の取組み、スポーツ施設の指定管理者などについて、執行部の考えをただしました。

# 建設文教常任委員会



市道路線認定の現地確認

## 新たなメンバーで議会の活力をお届けします



### 「市民と議会を結ぶ かけはしとして」

この度、新しい28人の議員が決まり、4月25日の第2回臨時会において8人で構成する議会報編集特別委員会が設置されました。

議員として、市民の皆様の声を聞き、議会に反映させ、その結果をお知らせすることは議員活動の一つであります。これまで定例会ごとに発行していた「佐渡市議会だより」では、重要な議案の説明、一般質問や委員会報告を掲載し、多くの方から関心を持っていただけるような紙面づくりを目指してきました。

今後、読みやすくわかりやすい議会だよりをとおして、市民の皆様と議会を結ぶかけはしとなるよう心がけていきますので、ご支援とご愛読をお願いいたします。

議会報編集特別委員会

委員長 中村良夫

### 編集後記

議員28人で新しい市議会がスタートし、4月25日の臨時会で議長、副議長をはじめ各委員会の構成も決まりました。

今回の「議会だより」は、3月定例会の報告と新市議会の概要を詳細にお知らせしたいとの観点から、発行日及び紙面構成が変則的なものとなりました。

なお、第16号発行後に10ページ上段の空港答弁の一部に誤りがありましたので、ここに改訂させていただきました。

次号から編集委員8人が英知を結集した「議会だより」を市民の皆様にお届けできるよう頑張りたいと思います。

### 表紙紹介

江戸時代から近代に至るまで埋もれていた伝統ある雛人形が、今年も相川にて展示公開されました。各家々、顔や形がさまざま、歴史を感じさせてくれ、多くの見学者で賑わいました。